

中間リング

www.ianbfoto.com

マミヤプレス用

撮影レンズとカメラボデーとの間に5個の中間リングを組み合わせて取り付けるだけで、100mm F3.5 レンズを使用して、実物の約 $1/9$ から 1.14 倍までの倍率で、接写や複写が、簡単・確実にできます。

さらにアオリ板を引き出せば、なお一層倍率を高めることができます。

ご注意

中間リングを使用して撮影する際に、アオリ板を引き出さずに、中間リングだけで6×9判に接写する場合は、レンズの種類によっては、リングを数多く取り付けたときに、画面の四すみが多少ケラレることがあります。ピントガラスをのぞきながら、絞りを絞り込むと、ケラレの量がわかります。

6×7判で撮影する場合、あるいはアオリ板をいっばいに引き出して撮影する場合は、どのレンズでもケラレることはありません。75mm F5.6 及び250mm F5 レンズは、中間リングを取り付けることができないようになっています。

接写表の利用法

1. 撮影目的によって、接写表から適当なリングの組み合わせを選びます。
2. リングを取り付けて、ピントを合わせましたら、露出計で被写体の明るさを測り、これによって決まる露出条件に、接写表の露出倍数の修正を加えた露出を与えて、撮影を行ないます。
たとえば、露出計で測った露出条件が、絞り11、露出時間 $1/8$ 秒で、接写表から得られた露出倍数が2であったとしますと、実際にシャッターを切るときには、露出時間を $1/4$ 秒にするか、絞りを8にします。なお、露出はかけ過ぎないように注意して下さい。
3. 接写や複写のときは、被写界深度が大へん浅いので、焦点を精密に合わせると同時に、通常8以上の小絞りで撮影いたします。



100 mm F 3.5 レンズ (ブラックシャッター用接写表)

| 組み合わせ方 | 被写体距離(mm) | 倍 率 | 写 る 範 囲 (mm) | 露 出 倍 数 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------------------|---------|-------|
| 1+2 | 987~377 | 0.11~0.34 | (514×755) ~ (168×247) | 1.2~1.8 | * 1.5 |
| 1+3+2 | 401~265 | 0.31~0.54 | (181×266) ~ (105×154) | 1.7~2.4 | * 2.0 |
| 1+4+2 | 274~215 | 0.51~0.74 | (113×166) ~ (77×113) | 2.3~3.0 | * 2.6 |
| 1+3+4+2 | 219~186 | 0.71~0.94 | (79×116) ~ (60× 89) | 2.9~3.8 | * 3.3 |
| 1+3+4+5+2 | 189~167 | 0.91~1.14 | (62× 91) ~ (50× 73) | 3.7~4.6 | * 4.0 |
| 1+3+4+5+2 +アオリ板 | 160~147 | 1.23~1.46 | (46× 68) ~ (39× 58) | 5.0~6.0 | * 5.4 |

90 mm F 3.5 レンズ用接写表

| 組み合わせ方 | 被写体距離(mm) | 倍 率 | 写 る 範 囲 (mm) | 露 出 倍 数 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------------------|---------|-------|
| 1+2 | 810~334 | 0.12~0.34 | (465×690) ~ (165×245) | 1.3~1.8 | * 1.5 |
| 1+3+2 | 334~231 | 0.34~0.57 | (165×245) ~ (100×148) | 1.8~2.5 | * 2.1 |
| 1+4+2 | 231~187 | 0.57~0.79 | (100×148) ~ (72×106) | 2.5~3.2 | * 2.8 |
| 1+3+4+2 | 187~162 | 0.79~1.01 | (72×106) ~ (58× 85) | 3.2~4.0 | * 3.6 |
| 1+3+4+5+2 | 162~146 | 1.01~1.23 | (58× 85) ~ (46× 67) | 4.0~5.0 | * 4.5 |
| 1+3+4+5+2 +アオリ板 | 138~130 | 1.38~1.59 | (41× 61) ~ (36× 52) | 5.7~6.7 | * 6.1 |

ご 注 意

1. この表の各欄の左側の数値は、レンズが沈胴位置で、距離目盛を∞の位置に合わせたときの値を示し、右側の数値は、レンズを通常位置に引き出して、最近接距離目盛（1メートル）まで繰り出したときの値を示しています。

最下行は、5個のリングを取り付け、さらにアオリ板をいっばいに引き出した場合の数値を示します。ただしマミヤユニバーサルプレス及びマミヤプレス・スタンダードは、アオリ板を引き出すことができませんので、この数値は適用されません。

2. 被写体距離は、レンズ鏡わく最前端から被写体までの距離を示します。
3. 倍率とは、実物に対するピントガラス上の像の大きさの割合で、リングを数多く組み合わせて取り付けるほど、倍率が高まり、被写体に近づいて撮影することができます。
4. 写る範囲とは、ピントガラス面（57×84mm）に、いっばいに写る被写体の大きさです。
5. 露出倍数のうち*印付きの値は、レンズが通常位置で、距離目盛が∞の場合のものです。

